

刑	00	05	5年
(令和10年3月末まで保存)			

刑 企 第 5 0 号
(情 管)
令 和 4 年 1 2 月 2 2 日

各 所 属 長 殿

刑 事 部 長

自由刑とん刑者及び逃亡被告人等手配登録通報の取扱いについて

見出しの件については、「自由刑とん刑者及び逃亡被告人等手配登録通報の取扱いについて」（平成24年7月18日付け青警本刑企第300号ほか。以下「旧通達」という。）に基づき実施してきたところ、引き続き、検察庁から自由刑とん刑者及び逃亡被告人等（以下「被収容者」という。）の手配登録通報があった場合、別添「自由刑とん刑者及び逃亡被告人等を警察庁情報管理システムに手配登録する取扱要領」のとおり作成し、中国人被収容者の漢字氏名が判明している場合は、ピンインに変換を行い、異（偽）名欄に記入することになるので、事務処理上遺漏のないようにされたい。

なお、旧通達は廃止する。

担当：刑事企画課手配共助係

別添1

自由刑とん刑者及び逃亡被告人等を警察庁情報管理システムに手配登録する取扱要領

1 被収容者手配照会業務

被収容者手配照会業務は、自由刑とん刑者及び逃亡被告人等（以下「被収容者」という。）を警察庁情報管理システムに手配登録（以下「手配登録」という。）し、指名手配照会業務に準じて処理する業務（以下「被収容者手配照会業務」という。）をいう。

2 手配登録の対象及び手配範囲

手配登録の対象は、次の者とし、手配範囲は、すべて全国手配とする。

- (1) 自由刑とん刑者（収容状が発せられている自由刑とん刑者）
- (2) 逃亡被告人等（収容指揮書が発せられている逃亡被告人及び逃亡被疑者）

3 手配登録要領

被収容者を手配登録する場合の要領は、次のとおりとする。

- (1) 被収容者を手配登録する場合は、当該被収容者に係る収容状又は収容指揮書を発した地方検察庁（高等検察庁、地方検察庁支部又は区検察庁の検察官が収容状又は収容指揮書を発した場合、当該検察官の属する検察庁の所在地を管轄する地方検察庁（支部を除く。以下同じ。））において、被収容者手配登録通報書（別記様式第1号。以下「手配登録通報書」という。）に必要事項を記入の上、収容状又は収容指揮書の写しを添付して、青森県警察本部刑事部刑事企画課（以下刑事企画課という。）に送付して行うものとする。
- (2) 手配登録通報書を受理した刑事企画課は、手配登録通報書にコード付けを行い、照会センターへ送付し、手配登録するものとする。
- (3) 手配登録の通報をした被収容者に、収容、時効完成又は公訴取消等の解除理由が生じた場合は、手配登録の通報をした地方検察庁は、その都度、刑事企画課に対して、まず、電話で被収容者手配登録の解除通報を行い、事後速やかに被収容者手配登録の解除通報書（別記様式第2号）を送付するものとする。
- (4) 電話で解除通報を受けた刑事企画課は、照会センターを通じ、直ちに当該被収容者の手配登録の解除登録を行うものとする。

4 手配登録の実施に伴う検察庁の措置

- (1) 地方検察庁は、刑事企画課に被収容者の手配登録の通報をする場合は、あらかじめ、次の手続きを行うものとする。

ア 自由刑とん刑者

検事長に対する収容請求の手続きを行い、全国の地方検察庁に当該自由刑とん刑者に係る収容状を用意する。

イ 逃亡被告人等

全国の地方検察庁に対して、緊急収容に行い得るに足る所要事項を記載した手配書を送付する。

- (2) 手配登録されている逃亡被告人等について、警察から発見通報がなされた場合は、当該逃亡被告人等の手配登録の通報をした地方検察庁の検察官は、直ちに、発見地を管轄する地方検察庁の検察官に対して、収容指揮の囑託を行うものとする。

5 被収容者発見時の措置

- (1) 警察官は、被収容者を発見した場合は、刑事企画課を通じ、発見地を管轄する地方検察庁へ通報するものとする。
- (2) 通報を受けた地方検察庁は、原則として刑事企画課を通じ、被収容者の身柄の措置を指示するものとする。
- (3) 身柄の護送については、従前の例による。ただし、警察側で護送する場合は、発見地を管轄する地方検察庁、同支部又は区検察庁までとする。

6 細部事項の協議

- (1) 被収容者の手配登録に関する細部事項は、法務省と警察庁の間で別途協議する。
- (2) 地方検察庁と刑事企画課は、互いに連絡を密にし、円滑な運用に努めるものとする。

別添 2

被収容者手配登録通報書の作成要領

1 作成区分

様式	作成要領
被収容者手配登録通報書 （「取扱要領」別記様式第1号）	<p>1 被収容者手配登録通報書（以下「手配登録通報書」という。）は、自由刑とん刑者又は逃亡被告人等の手配登録通報を行う地方検察庁で作成する。</p> <p>2 手配登録通報書を受理した刑事企画課は、手配番号、手配年月日及び手配課署を補足記入し、コード付けを行う。</p>
被収容者手配登録の解除通報書（「取扱要領」別記様式第2号）	<p>1 被収容者手配登録の解除通報書（以下「解除通報書」という。）は、解除理由が生じた都度、手配登録通報を行った地方検察庁で作成する。</p> <p>2 地方検察庁は、上記解除通報書に基づき、まず電話で刑事企画課に解除通報を行い、事後速やかに解除通報書を送付する。</p> <p>3 電話で解除通報を受理した刑事企画課は、解除通報書の同一様式に通報事項並びに手配番号、手配年月日及び手配課署を記入し、コード付けを行う。</p>

2 記入要領

様式	記入項目	記入要領	
		地方検察庁の記入要領	県警察の記入要領
	通報番号	<p>1 手配登録通報を行う地方検察庁名を記入するとともに通報年の西暦年号の下2桁及び次の区分による暦年ごとの4桁の連続番号を記入する。</p> <p>自由刑とん刑者 …… 8001～8999</p> <p>逃亡被告人等 … 9001～9989</p>	記入しない。

様式	記入項目	記 入 要 領																									
		地方検察庁の記入要領	県警察の記入要領																								
被 収 容 者 手 配 登 録 通 報 書		<p>[例]</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="6">東京</td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: center;">地方検察庁</td> </tr> <tr> <td colspan="2">西暦年号 下2桁</td> <td colspan="4">進 行 番 号</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> </table> <p>2 通報番号は、手配登録通報を行う地方検察庁ごとに設定する。</p>	東京						地方検察庁						西暦年号 下2桁		進 行 番 号				0	6	8	0	0	1	
	東京																										
	地方検察庁																										
	西暦年号 下2桁		進 行 番 号																								
	0	6	8	0	0	1																					
	通報年月日	手配登録通報の日を記入する。																									
	あて名	通報先の警察本部名及び青森県警察本部刑事部刑事企画課長課長と記入する。																									
発信者	手配登録通報を行う地方検察庁名及び検察官名を記入する。																										
①手配番号	記入しない。	地方検察庁で設定された通報番号中の進行番号をそのまま記入する。																									
②手配年月日		検察庁の通報年月日をそのまま記入する。																									
③罪名	<p>1 手配罪名を記入し、既遂・未遂の区分を○で囲む。</p> <p>2 手配罪名が2つ以上ある場合は、主たる罪名1つを記入する。</p>	<p>罪名の既遂・未遂区分コード、罪名コードの順にそれぞれコード表を参照の上、次の区分による桁数のコードを、コード欄に記入する。ただし、手口犯罪の場合でも犯罪手口は、記載されないため、その場合は、罪名コードの次に999を記入する。</p> <p>手口犯罪の場合</p> <p>（ 刑法犯の場合・・・・・・ 7桁 特別法犯の場合・・・・・・ 7桁</p> <p>手口犯罪以外の場合</p> <p>（ 刑法犯の場合・・・・・・ 4桁 特別法犯の場合・・・・・・ 4桁</p> <p>なお、7桁に満たないコードを記入する場合は、末尾を空白とする。</p>																									

様式	記入項目	記 入 要 領	
		地方検察庁の記入要領	県警察の記入要領
	④手配種別	自由刑とん刑者、逃亡被告人等のいずれかを○で囲む。	自由刑とん刑者・・・・・・ 08 逃亡被告人等・・・・・・ 09 のいずれかをコード欄に記入する。
	⑤手配課署	記入しない。	手配課名を記入し、都道府県（方面）本部課・室別6桁コード表を参照の上、6桁のコードをコード欄に記入する。
	⑥出生地	<ol style="list-style-type: none"> 1 できるだけ詳しく記入する。 2 調査しても判明しない場合は、不明、一部のみ判明している場合は、判明した部分を記入し、以下不明とする。 3 出生地が外国である場合は、国名を記入する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 都道府県市区町村コード表及び国名コード表を参照の上、6桁コードをコード欄に記入すること。 なお、コード付けの最小単位は、市区町村である。 2 不明の場合は、999999と記入する。 3 都道府県（方面）のみ判明し、以下不明の場合は、上位2桁に都道府県（方面）コードを記入し、末尾4桁は9999とする。指定市の場合で区以下が不明の場合は、指定コードを、町村制施行地で、町村以下が不明の場合は、郡コードを記入する。 4 改廃された市区町村にあっては改正された市区町村コードを記入する。
	⑦本（国）籍	<ol style="list-style-type: none"> 1 できるだけ詳しく記入する。 2 外国人の場合は、国名を記入する。 なお、韓国又は北朝鮮に本籍を有するものの国の認定については、当該本籍地をもって国籍とせず、調査の上記入する。 3 一部不明の記入要領は、出生地の2と同じ。 	出生地の記入要領に同じ [参考] 本籍不明の場合 999999 無国籍の場合 009989 国籍不明の場合 009999

様式	記入項目	記入要領	
		地方検察庁の記入要領	県警察の記入要領
	⑧住居	<ol style="list-style-type: none"> 1 現住所を詳しく記入する。 2 現在住所不定（不明）であるが、前住所（元住所を含む）が判明している場合は、「（前住所）」を○で囲みその住所を記入する。 3 前住所も判明しない場合は、住所不定又は住所不明と記入する。 	<p>出生地の記入要領と同じ。ただし、都道府県（方面）のみ判明し、以下不明の場合は、住所不明のコードをコード欄に記入する。</p> <p>[参考]</p> <p>住所不定の場合 …… 000000 住所不明の場合 …… 999999</p>
	⑨職業（前職業）	<ol style="list-style-type: none"> 1 職業分類コード表を参照の上、現在の職業を記入する。 2 現在の職業が不明又は無職であるが、前職行（元職業を含む。）が判明している場合は、「（前職業）」を○で囲み、前職業を記入する。 3 現在及び前職業が不明又は無職の場合は、不明又は無職と記入する。 	<p>職業分類コード表を参照の上3桁のコードをコード欄に記入する。</p> <p>[参考]</p> <p>不明の場合 …… 999 無職の場合 …… 911</p>
	⑩氏名	<ol style="list-style-type: none"> 1 本名を記入し、必ずフリガナをカナ文字で付す。 なお、氏を左欄に名を右欄に記入する。 2 本名に漢字を使用する外国人の読み方は、日本語の音読みとする。ただし、日本語の音読みのない漢字がある場合は、すべての漢字について現地語による読みとすること。 3 欧米人等の場合は、ラスト・ネーム(姓)、ファースト・ネーム(名)、ミドル・ネームの順にカナ文字で記入する。 4 漢字を使用しない外国人等の氏名には、長音符号（ー）を用いることができるが、それ以外の氏名には、長音符号を用いない。 5 本名に漢字を使用しない外国人の場合は、英字（アルファベット26文字）により本名を異名欄に記入する。 	<p>記入しない。</p>

様式	記入項目	記入要領	
		地方検察庁の記入要領	県警察の記入要領
	⑮異名	<p>1 異名、偽名、通称等のある場合に記入し、フリガナをカナ文字で付す。</p> <p>2 本名に他に通常読まれるであろう読み方が考えられる場合は、これを異名欄に記入する。</p> <p>3 本名に漢字を使用しない外国人については、英字（アルファベット26文字）による本名をラスト・ネーム(姓)、ファースト・ネーム(名)、ミドル・ネームの順に記入する。また、本名に漢字を使用する外国人については、ピンイン等の英字表記が判明している場合には、これを記入する。</p> <p>なお、警察庁情報管理システムの指名手配ファイルへの異名（英字）登録については、それぞれ次の文字数の範囲内で登録を行うこと。</p> <p style="text-align: center;"> { ラスト・ネーム(姓) 25文字以内 ファースト・ネーム(名) 20文字以内 ミドル・ネーム 20文字以内 } </p>	<p>中国人については、地方検察庁の氏名欄に漢字氏名の記載があり、異名欄にピンインの記載がない場合は、漢字氏名をピンインに変換し、記入すること。</p>

様式	記入項目	記入要領	
		地方検察庁の記入要領	県警察の記入要領
	⑪生年月日	<p>1 年号及び年月日を記入する。</p> <p>2 外国人の場合も日本の年号及び年に換算して記入する。</p> <p>3 年齢しか判明しない場合は、生年に換算して記入する。</p> <p>4 推定年齢で、推定年齢に幅がある場合は、その推定年齢を「(歳)」の中に記入し、その中央値の年齢を生年に換算して記入する。</p>	
	⑫性別	該当する略記号（M：男、F：女）を○で囲む。	
	⑬身体特徴	<p>1 身体特徴コード表を参照の上、1個の身体特徴を1つの枠内に、種別・部位・形状の順に記入する。ただし、身体特徴が種別又は種別・部位で表示されるものについては、種別又は種別・部位のみ記入する。</p> <p>2 4個以上の身体特徴を有する場合は、外見上、最も特徴を把握できるもの3個を選んで記入する。</p>	<p>1 身体特徴コード表を参照の上、6桁のコードをコード欄に記入する。ただし、身体特徴が種別又は種別・部位で表示されるものについては、種別又は種別・部位のみコード付けし末尾4桁又は2桁はブランクとする。</p> <p>2 不明の場合は、不明部分を99とする。</p>
	⑭身長	<p>1 センチメートルを単位として記入する。</p> <p>2 推定身長に幅がある場合は、その中央値を記入する。</p>	記入しない。

様式	記入項目	記入要領																													
		地方検察庁の記入要領	県警察の記入要領																												
	⑩記事	<p>1 通報検察庁、通報番号欄は記入しない。</p> <p>2 自由刑とん刑者の場合は、時効年月日を記入する。</p>	<p>1 検察庁、裁判所コード表を参照の上、コード欄に、通報番号欄の地方検察庁名をカナコードで、続けて通報番号を記入する。</p> <p>2 自由刑とん刑者の場合は、通報番号の次の1桁をあけて6桁で時効年月日をコード欄に記入する。</p> <p>[例]</p> <p>通報番号 時効年月日 東京地方検察庁068001 令和10年10月1日</p> <table border="1" data-bbox="912 1030 1331 1079"> <tr> <td>ト</td><td>ウ</td><td>キ</td><td>ヨ</td><td>ウ</td><td>チ</td><td>ケ</td><td>ソ</td><td>0</td><td>6</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="912 1102 1270 1153"> <tr> <td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	ト	ウ	キ	ヨ	ウ	チ	ケ	ソ	0	6	8	0	0	1	1	0	1	0	0	1								
ト	ウ	キ	ヨ	ウ	チ	ケ	ソ	0	6	8	0	0	1																		
1	0	1	0	0	1																										

様式	記入項目	地方検察庁の記入（通報）要領	県警察の記入要領 （電話で通報を受理した場合）
被 収 容 者 手 配 登 録 の 解 除 通 報 書	日 付	解除通報を発信する日を記入(通報)する。	解除通報内容をそのまま記入する。
	あ て 名	被収容者手配登録通報書に同じ。	
	発 信 者		
	通 報 番 号	既に手配登録した内容と同一のものを記入(通報)する。	
	通 報 年 月 日		
	①手配番号	記入(通報)しない。	既に手配登録した内容と同一のものを記入する。
	②手配年月日		
	④手配課署		
	③手配種別	既に手配登録した内容と同一のものを記入(通報)する。	解除通報内容をそのまま記入する。
	⑤氏 名		
⑥生年月日			
⑦解除年月日	解除理由が生じた日を記入(通報)する。	解除理由を○で囲み、解除理由コードを参照の上、コード付けを行う。	
⑧解除理由	1 該当する解除理由を○で囲む(又は通報する)。 2 解除理由が2つ以上競合する場合は、主たる解除理由を1つだけ選んで○で囲む(又は通報する)。		

別記様式第1号

被收容者手配登録通報書				①※ 手配番号				
				②※ 手配年月日		年 月 日		
通報 番号	地方検察庁			③ 罪 名		既遂 未遂		
	西暦年号下2桁	進 行 番 号						
通報年月日		年 月 日		④ 手 配 別		自 由 刑 と ン 刑 者 等 亡 被 告 人 等		
あて名	課長殿							
発信者	地方検察庁 検察官 検事			⑤※ 手 配 署				
被 收 容 者	⑥ 出 生 地							
	⑦ 本(国)籍							
	⑧ 住 居 (前住居)							
	⑨ 職 業 (前職業)		⑩フリガナ 氏 名					
	⑮フリガナ 異(偽)名							
	⑪ 生年月日		年 月 日 (歳)		⑫ 性 別 M (男) ・ F (女)		⑭ 身 長	
	⑬ 身 体 特 徴							
⑯ 記 事		通報検察庁・通報番号						
		時効年月日			年 月 日			

注)※印欄及びピコード欄は、警察本部刑事企画課で記入する。

別記様式第2号

被收容者手配登録の解除通報書					日 付		年 月 日	
あて名			課長殿		発信者	地方検察庁		
						検察官	検事	
通 報 番 号		地方検察庁				⑤ フリガナ		
		西暦年号 下 2 桁	進 行 番 号			氏 名		
						⑥	生年月日	
							年 月 日	
通報年月日		年 月 日			⑦ 解除年月日		年 月 日	
① ※ 手配番号					⑧ 解 除 理 由		警 察 収 容 検 察 庁 収 容 死 効 完 成 時 公 訴 取 消 そ の 他	
② ※ 手配年月日		年 月 日						
③ 手配種別		自由刑とん刑者 逃亡被告人等						
④ ※ 手配課署								

注)※印欄及びコード欄は、警察本部刑事企画課で記入する。